



光る知性 豊かな心 強い意志

南 中 生

長井市立長井南中学校

令和 5 年 12 月 22 日

校長 赤間 幸生

本気の姿が見られた 同じ方向を向いた86日間



今年の漢字は「**税**」 流行語は「**あれ**」 この「あれ」を言った阪神タイガースの岡田彰布監督。選手が「優勝」を意識しすぎないように、あえて「優勝」という言葉を使わずに「優勝」を表現したのが、この「あれ」でした。選手たちは、その監督の思いを受けて、この言葉をスローガンに38年ぶりの日本一を実現させ、ファンを沸かせました。



ところで監督を胴上げしている様子が、最近の胴上げと違っていました。最近の胴上げは、中継のカメラやスタンドのファンにアピールしようと、輪の外を向く選手が増えていました。しかし阪神の選手やコーチ全員が、胴上げをしている輪の中心を向いていたのです。阪神の選手たちは、優勝が確実にできたころから、胴上げの形について、話し合っていたということです。それは、岡田監督が常に口にしていた「チームの姿」にこだわる姿勢が、選手たちにも浸透していた何よりの証拠だと思います。天童市出身の中野拓夢選手も、そのミーティングに入り、どんな発言をしたのか、どんな意思表示をしたのかを想像するだけでもワクワクします。



思い起こせば、こういう姿や瞬間は「この2学期、私たちにもあったなあ。」と多くの場面がよみがえってきます。感染症や熱中症の危機を乗り越えながら、「全員の本気」が見える感動の行事を創り上げてきました。それぞれの違う個性が同じ方向を向いて取り組み、思い出を刻んできたことがこの2学期の大きな財産です。



86日間の2学期が終了。「今年ならではの」の学期を3年生を中心に全校生で創った2学期でした。明日からはお家時間の17日間。3年生は特に、自分が決めた道を歩み抜く日々をすることを期待します。1, 2年生は今できる挑戦を家族が見ている中、地道に進めていき、令和6年を晴れ晴れと迎えてほしいと願います。

多くの「言葉」を獲得し 豊かに表現

令和6年度の長井南中学校生徒会を勢いのあるものにするために、リーダー研修会が展開されています。リーダーは英語で「LEADER」。実はこの一文字一文字に、リーダーの条件が備わっているのです。全て大事な条件ですが、共通している

L	→	Listen	(傾聴する)
E	→	Explain	(説明する)
A	→	Assist	(支援する)
D	→	Discuss	(話し合う)
E	→	Evaluate	(評価する)
R	→	Response	(応える)

のが「言葉」。「言葉」を多く獲得して豊かに表現できるリーダーになってほしい。自分がわかっている、相手も分かっているつもりでも、正しくしっかり伝えないと、なかなか伝わらないもの。自分の思いを相手に正しく伝える事は、生きていく上でとても大切なことです。本や新聞を読んでいくうちに、自分の中に言葉がたまっていき、思いと言葉と

が繋がっていきます。これは日常生活の中で大事な力となります。年末年始は多くの「言葉」を獲得するようアンテナを張って過ごすことを期待します。

栄光の記録



- ◇ 第18回マツキドライビングスクール杯争奪中学校バレーボール強化大会(11/18)

男子の部 第1位
女子の部 第1位



- ◇ 「小さな親切」実行章

<団体>

長井市立長井南中学校 (永年にわたるラブリー長井に対して)

長井市立長井南中学校生徒会企画会 (「ボカボカ day」「ハッピーBOX」の活動に対して)

長井市立長井南中学校応援団 (壮行式応援や「おはようエール」の活動に対して)

<個人>

松木 悠登 塚田 忠誠 井上 実優



- ◇ 第61回中学生作文コンクール(11/17)

都道府県別賞 山形県佳作 山内 朱莉

- ◇ 「いじめ防止」標語コンクール 長井市優秀作品 (11/6)

鈴木 愛菜 「多様性 みんなでつながる 個性の輪」

高橋 玲那 「パレットに 優しさいっぱい 思いやりの色」

早乙女心望 「気づかいは 心の傷の 予防薬」

- ◇ 第73回社会を明るくする運動西置賜地区作文コンテスト(11/30)

努力賞 菅 心乃 「言葉の重みを考えて」

長井分会長賞 左右田 凜 「いま自分にできること」

〃 山田朔太郎 「社会を明るくするために」



- ◇ 第50回置賜地区アンサンブルコンテスト(12/16)

金賞 金管五重奏 < 県大会出場 > 打楽器四重奏

銀賞 クラリネット五重奏